

◆企画参加団体

上智大学研究機構/上智大学研究推進センター/キリスト教文化研究所/中世思想研究所/イベロアメリカ研究所/国際言語情報研究所/グローバル・コンサーン研究所/比較文化研究所/ヨーロッパ研究所/アジア文化研究所/アメリカ・カナダ研究所/地球環境研究所/メディア・ジャーナリズム研究所/イスラーム地域研究所/水稀少社会研究センター/生命倫理研究所/半導体研究所/多文化共生社会研究所/人間の安全保障研究所/アイランド・サステナビリティ研究所/重点領域研究採択課題/理工学専攻生物科学領域



講演会・シンポジウム等の 各企画の詳細、 参加申込みはこちらから

Sophia Open Research Weeks 2025へようこそ!

Sophia Open Research Weeks (SORW)に興味を持っていただき、ありがとう ございます。この文章を読んでくださっている皆さんは、上智大学にさまざまなイメージを 持たれているかと思います。かつての「語学の上智」から、学生・教員・研究者が世界中 から文理の枠を超えて集う「グローバル・ワンキャンパス」へ、また各界で活躍する卒業 生や「教育熱心な大学」というイメージを思い起こされた方もおいでかもしれません。

しかし、どのようなイメージであれ、その土台には地道な研究活動があります。今年で12回目を迎えるSORWは、上智大学で日頃から展開されている多彩な研究活動の成果を、広く世の中の皆さんと共有しようという企画です。名称にOpenの語があるように、すべての人に「開かれた」催しです。

SORW2025では、研究機構と機構を構成する常設・時限両部門の研究所・研究センターのほか、附置研究機関などが、およそ3週間にわたり、講演会、シンポジウム、ワークショップや展示など、さまざまな企画を展開します。対面・オンライン・ハイブリッドと開催形式も多様です。ご自身のライフスタイルに合わせてSORW2025をお楽しみいただければ幸いです。皆さんのご参加をお待ちしています。

上智大学研究機構長 谷 洋之



各企画の予約と参加について

各企画の予約方法、アクセス情報等については 以下SORWサイトからご確認下さい。



上智大学公式サイトTopから: ホーム>研究>Sophia Open Research Weeks https://www.sophia.ac.jp/jpn/research/sorw/

- 掲載している内容は、予告なく変更する場合があります。参加前に上記サイトで最新情報をご確認下さい。
- Zoom等、オンライン企画の視聴環境は各自でご用意ください。通信に係る料金等ご自身の負担となります。
- ●企画ごとに申し込み窓口、方法が異なります。各企画案内に記載の内容をご確認の上申し込んでください。

11月5日(水) 17:30~19:00

講演会

牛命倫理と公衆衛牛倫理

対面 会場 未定 ※SORWサイトでご確認ください。

生命倫理学は生命科学や医学や医療技術の発展にともなう倫理的な課題を考 察します。公衆衛生は集団の健康の向上を目指す学問や実践であり、それにと もなう倫理的な課題を検討するのが公衆衛生倫理です。新型感染症の流行は私 たちに、公衆衛生倫理の重要性を再認識させましたが、公衆衛生倫理は感染症 対策に尽きるわけではありません。本企画では、生命倫理と公衆衛生倫理の関 連や異同について改めて考えてみたいと思います。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、研究者
- ◎主催… 生命倫理研究所 ◎開催言語…日本語
- ◎問合せ先e-mailアドレス…suibe-co@sophia.ac.jp

要予約

11月6日(木) 17:20~19:00

シンポジウム

多様性のなかで「私」を問う ーフランス語圏出身の芸術家たちー

Zoomおよび対面 会場 2号館17階1701会議室

フランス語圏出身者の小説や映画に見られる生と文化のぶつかり合いや混ざり 合いの意味について考える講演と議論です。

【講演者と講演題目】

大辻都:京都芸術大学教授「気づかれなかった生の語り直しとしてのフィクショ マリーズ・コンデの創作を中心に」/吉村和明:上智大学名誉教授「シャンタ ル・アケルマン、ブリュッセル (ベルギー) 生まれの映画作家」

- ○主な対象者…高校生・大学生・大学院生・教職員・一般
- ◎主催…ヨーロッパ研究所 ◎開催言語… 日本語
- ○問合せ先e-mailアドレス…i-europe@sophia.ac.jp

①予約不要②要予約

①11月7日(金) 18:00~19:30

講演会

②11月21日(金) 17:30~19:00

著者と語るシリーズ

①『心理支援とマイクロアグレッション』②『人形のアルファベット』

対面 会場 ①中央図書館9階921会議室 ②中央図書館7階721A アメリカ・カナダ研究所

著者に聞く講演会シリーズです。今回は2冊の翻訳書をとりあげ翻訳者の先生 方に出版までの経緯や背景について伺います。

- ①モニカ·T·ウィリアムズ著『心理支援とマイクロアグレッション』【講師】出口真 紀子(上智大学教授)、立崎愛枝(早稲田大学スチューデント・ダイバーシティ・セ ンター学生相談センター)、水木理恵(医療創生大学准教授)
- ②カミラ・グルドーヴァ著『人形のアルファベット』【講師】上田麻由子(アメリカ・ カナダ研究所準所員/上智大学非常勤講師)
- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、研究者
- ◎主催…アメリカ・カナダ研究所 ◎開催言語…日本語
- ◎問合せ先e-mailアドレス…instacs@sophia.ac.jp

会場:11月10日(月)~14日(金) 9:00~17:00 ポスターイベント オンライン:11月5日(水)~24日(月)

Sophia100人論文2025

対面およびオンライン 会場 6号館1階知恵の樹前+3階ロビー

分野を超えた研究者との知的な対話を促すポスターイベントです。1つの画像 +3つの質問に答えた短いテキストの組み合わせを日英併記でポスターとして 作製し、一堂に掲示します。ポスターは会場では所属と名前付きで掲示し、来場 者からポストイットでコメントを受けます。オンラインでは匿名で掲示し、参加者 同士の交流と自由な議論を促します。

- ◎主な対象者…大学生、大学院生、研究員、教職員、一般の方
- ◎主催…研究推進センターURAチーム ◎開催言語…日本語·英語
- ◎問合せ先e-mailアドレス…ura-sophia-co@sophia.ac.jp

11月6日(木) 15:30~17:30(展示10:00~)シンポジウム及び展示

SDGs Day

対面 会場 2号館17階1702会議室

今回で3回目となる「SDGs Day」を、地球環境研究所と地球環境学研究科が合 同で開催いたします。今年は、沖縄で活躍される平良氏(漫湖水鳥・湿地セン ター)と福田氏(自然教室ふぁみーゆ)をお招きし、現状や課題についてご講演 いただきます。また教員と学生による世代を超えた対談も企画しています。展示 は同会場にて、研究所所員による研究、研究科学生による研修内容を、ポスター や映像を用いてご紹介します。展示は10時よりフリーオープンしております。ど なたでもご参加いただけますので、お気軽にお越しください。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、研究者
- ◎主催… 地球環境研究所 ◎開催言語…日本語・(英語資料あり)
- ◎問合せ先e-mailアドレス…i-gloenv2-co@sophia.ac.jp

11月6日(木) 17:20~19:00

ポスター発表

理工学研究科生物科学領域 大学院1年生の研究中間発表会

対面 会場 9号館3階356A教室

理工学専攻生物科学領域の大学院1年生全員がポスターを展示して自分の研 究の説明をします。研究室配属や大学院進学を考えている学部生はもちろん、 一般の方々も是非お越しください。

- ○主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、研究者
- ○主催…理工学専攻生物科学領域 ○開催言語…日本語
- ◎問合せ先e-mailアドレス…contact-us-biosci-co@sophia.ac.jp

①11月7日(金) 19:30~21:00 ②11月8日(土) 9:00~10:30

ワークショップ

抵抗、再生、保護:マプチェ族と ラパヌイ族の教育と文化

Zoom

7日(マプチェ族の回)、8日(ラパヌイ族の回)の2日に渡り、南米チリの先住民 の今について先住民女性の現状、健康、社会問題、歴史、言語など様々なアプ ローチからマプチェ族およびイースター島のラパヌイ族の活動家や教育者の話 を聞き、Q&Aを行います。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、教員、研究者
- ◎主催…イベロアメリカ研究所 ◎開催言語…スペイン語(一部通訳あり)
- ◎問合せ先e-mailアドレス…ibero@sophia.ac.jp

11月10日(月)~12月1日(月)

オンデマンド講演会

ムスリムにみるつながりの風景: 部族、街区、タリーカ、インターネット

オンライン配信

イスラームについて強調されがちな唯一神への信仰とは別に、ムスリムたちは ムスリム同士、さらにはムスリム以外の人々も含めて共同体を構成して生きてい くことを重視します。この講演会ではムスリムたちがつくりなす人のつながりの ありようを、日々の暮らしに密着した研究をする4人の人類学者が紹介します。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、一般の方
- ◎主催…イスラーム地域研究所 ◎開催言語… 日本語
- ◎問合せ先e-mailアドレス…sias-co@sophia.ac.jp

11月10日(月)17:20~18:50

研究成果発表

現代言語学と否定辞の諸問題

対面 会場 中央図書館8階821会議室

2部制で、第1部は、学部生・一般向けに、現代言語学とはどのようなものか説明します。第2部は、大学院生・研究者向けに否定辞にかかる研究成果の発表を行います。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、教員、研究者
- ◎主催…国際言語情報研究所
- ◎開催言語…日本語 ◎問合せ先e-mailアドレス… i-lincom@sophia.ac.jp

要予約

11月13日(木) 17:20~19:30

講演会

デフリンピックと共生社会

対面 会場 2号館17階1702会議室

本年11月に東京で初めて開催されているデフリンピック(聴覚障害者の国際スポーツ大会)の期間に、米国から元デフリンピアンでもある心理学者を迎え、デフリンピックの開催が多文化共生社会の実現にどのように寄与するのかを検討します。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、一般の方
- ◎主催… 多文化共生社会研究所 ◎開催言語…日本語・英語(通訳あり)
- ◎問合せ先e-mailアドレス…m-hisata@sophia.ac.jp

要予約

11月15日(土) 10:25~16:45

講演会

2025年度聖書講座「知恵文学を再考する ――〈今・ここ〉にあるいのちを生き抜く知恵」

Webinarおよび対面 会場 中央図書館8階821会議室

旧約聖書は、古代オリエント周辺世界の知恵文学から多大な影響を受けつつも、知恵についての独自の思索を多様な文学形式のもとに結晶させました。そうした旧約の知恵文学の影響は、新約聖書の随所にも見て取ることができます。旧約・新約聖書を貫く「知恵」という主題は、神の前にある人間の生のあらゆる側面についての思索へと私たちを招きます。さまざまな「生きづらさ」を抱える現代にあって、それでもなお真摯に〈今・ここ〉を生きるための知恵文学を再考します。

- ※本講演のみ有料:一般1,000円/学生800円(上智大学学生、教職員無料)
- ◎主な対象者…大学生、大学院生、一般、研究者 ◎主催…キリスト教文化研究所
- ◎開催言語… 日本語 ◎問合せ先e-mailアドレス…kiriken-co@sophia.ac.jp

予約不要

11月15日(土) 13:30~16:00

シンポジウム

Visuals, Digital Research, and Life Narratives in Urban and Rural Japan

対面 会場 10号館3階301会議室

This panel explores the evolving methodologies to study migration life in both urban and rural Japan. The speakers draw on a range of contemporary methods of visual storytelling and digital ethnography to filmed interviews, disaster narratives, and longitudinal fieldwork and investigate how migrants articulate their experiences, challenges, and aspirations.

- ◎主な対象者…大学生、大学院生、教職員、研究者、一般
- ◎主催…比較文化研究所 ◎開催言語…英語(通訳なし)
- ◎問合せ先e-mailアドレス…wadhwamegha@sophia.ac.jp

11月10日(月)、11月11日(火) 17:20~20:00(両日とも) 講演会

Sophiaの森を歩く 研究機構若手研究者による研究紹介

対面 会場 未定 ※SORWサイトでご確認ください。

本学研究機構に所属する若手研究者が、2日間にわたってそれぞれの専門分野について紹介します。哲学、文学、言語学、環境学、地域研究など、幅広いテーマを取り上げながら、研究の面白さや魅力をわかりやすく語ってくれます。研究者を目指す大学院生・学部生の皆さんはもちろん、他分野に関心のある先生方も、ぜひお気軽にご参加ください。新しい視点や発見に出会える場になるはずです。

- ◎主な対象者…大学生、大学院生、教職員、研究者
- ◎主催…研究機構 ◎開催言語…日本語
- ◎問合せ先e-mailアドレス…sorw-co@sophia.ac.jp

要予約

11月13日(木) 17:30~19:30

公開ワークショップ

越境するアートと個の身体、そして演劇

対面 会場 中央図書館8階821会議室

越境する「演劇と身体性」をテーマとする、ロシア演劇の村田真一名誉教授と能楽師の河村晴久氏による公開ワークショップです。日露文化を超えた二人の出会いは、戦時下のウクライナへの旅を経て、個の身体(存在)が演劇というアート表現を通して何を伝えることができるかを私たちに問いかけます。当日はウクライナでも演じられた、死後もなお戦いの修羅を生きる義経の霊を描いた「屋島」を体験し、一人ひとりの身体から平和の意味を再考します。

- ※事前予約を推奨しますが、当日参加も可能です。
- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、教職員、研究者、一般
- ◎主催… グローバル・コンサーン研究所 ◎開催言語…日本語
- ○問合せ先e-mailアドレス…i-glocon@sophia.ac.jp

要予約

11月15日(土) 13:00~16:00

オンラインセミナー

移民女性の目線で日本を見直す: 『外国人のための日本語で学ぶライフプラン』テキストの制作と活用

Webinar

移民女性の中には、予定外の妊娠により帰国を余儀なくされている人がいます。避妊や中絶の選択肢が出身国と異なること以外に、技能実習生や留学生の一部は在留資格の制限が障壁となります。本セミナーでは、彼女たちが来日時の目的を果たせるようライフブラン教育を行うためのテキストの制作メンバーと、それを利用した日本語教師が、移民女性の目線で日本を見直しながら実践した教育の体験を振り返り、テキストの普及を目指します。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、研究者
- ◎主催… アジア文化研究所 ◎開催言語…日本語
- ◎問合せ先e-mailアドレス…i-asianc@sophia.ac.jp

予約不要

11月15日(土) 15:00~18:00

講演会×史料展示会

没後80年 吉満義彦の人と思想

対面 会場 2号館5階508教室

哲学者・吉満義彦 (1904-1945) に近年あらためて注目が向けられています。 入手しやすい文庫版『文学者と哲学者と聖者 吉満義彦コレクション』(若松英輔編、2022年) の刊行も、新たな関心を喚起しました。今回の講演会は、吉満の仕事にくわしい二名の先生方の講演をつうじて、上智大学の哲学的・精神的伝統の一部でもあるその人と思想に触れる機会を提供します。会場では、吉満の手書きノートなど貴重資料の展示もおこなう予定です。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、研究者
- ◎主催…中世思想研究所、学術研究特別推進費 重点領域2023-2024成果発表
- 文学部哲学科 川口茂雄教授、JSPS科研費 基盤研究(B) 25K00391
- ◎開催言語…日本語 ◎問合せ先e-mailアドレス…imdthght@sophia.ac.jp

11月16日(日) 13:30~15:50

シンポジウム

平仮名学習で誰一人取り残さない! 読み障害の早期スクリーニングと介入プログラム ~三重大・上智大・福井大共同研究の成果より

Zoomおよび対面 会場 2号館4階401教室

読み障害は、学業全般に影響するのみならず、子どもの自尊感情を傷つけることが知られており、早期の支援開始が極めて重要です。しかし、実際は、小学校中学年以降に障害に気づかれることが少なくありません。三重大・上智大・福井大共同で、小学1年1学期に実施する読み障害のスクリーニング検査と介入プログラムを開発し、2024年より、三重県内の協力校で実施しています。今回は、本プログラムの概要とこれまでの成果を報告します。

◎主な対象者…大学生、大学院生、教育関係者、言語聴覚士、心理職、保護者、一般の方、 研究者 ◎主催… 国際言語情報研究所 言語聴覚研究センター ◎開催言語…日本語 ◎問合せ先e-mailアドレス…i-linslh@sophia.ac.jp

要予約

11月19日(水) 13:00~18:00

講演会

第6回半導体ナノフォトニクス研究会

対面 会場 中央図書館9階911会議室

上智大学および共同研究先における半導体関係の研究成果を発表します。高効率ナノ結晶光デバイス、可視フォトニック結晶、表面プラズモン、化合物半導体結晶成長技術などに関する口頭発表とポスター発表を予定しています。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、研究者、一般の方
- ○主催…半導体研究所 ○開催言語…日本語
- ○問合せ先e-mailアドレス…kikuchi@sophia.ac.jp

要予約

11月22日(土) 13:00~16:00

シンポジウム

鶴見和子の知の足跡~上智大学とその周辺

対面 会場 6号館2階201教室

来年(2026年)、内発的発展論や南方熊楠研究で知られる国際的社会学者、鶴見和子の没後20年を迎えます。これを機に、焦点があてられることが少なかった大学教員としての鶴見和子像に注目し、内発的発展論を発想し、醸成した場としての上智大学での研究活動・教育活動について元ゼミ生の研究者たちが語ります。

- ◎主な対象者…研究者、大学生、大学院生、一般の方
- ◎主催…メディア・ジャーナリズム研究所、鶴見和子研究会 ◎開催言語…日本語
- ◎問合せ先e-mailアドレス…sophiatsurumi1122@gmail.com

予約不要

11月24日(月) 15:00~17:00

ラウンドテーブル

太平洋における持続可能な養殖の可能性を探る: 教訓の共有と日本・ミクロネシアの連携強化

Zoomおよび対面 会場 中央図書館9階911会議室

本ラウンドテーブルでは、上智大学と島根県海士町の代表者が集まり、ブルーフードや小規模養殖に関する知見を共有します。日本に根ざした実践を取り上げ、それらがどのように学術・行政・地域社会の協働を通じて、ミクロネシアや太平洋地域における持続可能な沿岸生計や政策形成に資するかを探ります。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、研究者
- ◎主催…アイランド・サステナビリティ研究所 ◎開催言語… 日本語・英語(通訳あり)
- ◎問合せ先e-mailアドレス…isi-co@sophia.ac.jp

11月17日(月) 17:30~19:00

シンポジウム

オアシスとともに学ぶ地球規模課題 ーエジプト西部砂漠オアシス社会における 水と土地の持続的利用に向けて

Zoom

乾燥地は非持続的な水資源である地下水に依存しつつ持続性を構築するという難問をかかえている地域です。本シンポジウムでは、乾燥地地域であるエジプト西部砂漠を事例にしたSATREPS(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)「エジプト西部砂漠のオアシス社会における住民の理解と参画を軸とした水・土地資源の持続的利用モデルの構築」を紹介し、その難問に取り組む学際的な共同研究の一端を紹介します。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、研究者
- ◎主催…水稀少社会研究センター ◎開催言語…日本語
- ○問合せ先e-mailアドレス…oasis-co@sophia.ac.jp

要予約

11月21日(金) 17:30~19:00

シンポジウム

経済学で考える途上国のリアル: 『実証から学ぶ開発経済学』(有斐閣)ブックトーク

Zoomおよび対面 会場 2号館17階1702会議室

「経済学」と聞くと、お金や株を思い浮かべられるかもしれません。実は経済学はそれだけでなく、人々の暮らしや社会が抱える課題もその対象としています。 貧困・教育・ジェンダー・環境など、途上国が直面する問題を解き明かそうとする 経済学の一分野は開発経済学と呼ばれます。今回のシンポジウムでは、2025年 12月に刊行予定の新しい教科書『実証から学ぶ開発経済学』の編者と有斐閣 の編集担当者が登壇し、開発経済学の魅力や、教科書に込めた思い、そして出 版の舞失真までを誇ります。

- ◎主な対象者…高校生、大学生、大学院生、一般の方、研究者
- ◎主催…人間の安全保障研究所 ◎開催言語…日本語
- ◎問合せ先e-mailアドレス…sihs-ofc@sophia.ac.jp



上智大学の研究所と活動

上智大学では、文理融合や領域横断による特色ある学術研究を組織的に推進するため、研究所・センターを設置しています。研究機構を構成する常設研究部門と時限研究部門に属する研究所・センターに加えて、独立した附置研究機関があり、それぞれが特色ある研究活動を行っています。



https://www.sophia.ac.jp/jpn/research/kenkyukikan/

上智大学研究機構

上智大学の特色ある学術研究の体系的かつ効果的な遂行と、人材養成及び研究成果の学内外への発信を目的として2005年4月に設置されました。「常設研究部門」、「時限研究部門」の2つの研究部門から成り、各部門は1つの研究活動ユニットである「研究単位」(研究グループ)によって構成されています。

常設研究部門

12研究所が持続的研究を推進し、その結果を本学の教育だけでなく、広く社会に 環元することを目的に活動をおこなっています。

- ■キリスト教文化研究所
- ■中世思想研究所
- ■イベロアメリカ研究所
- ■国際言語情報研究所
- ■グローバル・コンサーン研究所

附置研究機関

■比較文化研究所

- ■ヨーロッパ研究所
- ■アジア文化研究所
- ■アメリカ・カナダ研究所
- ■地球環境研究所
- ■メディア・ジャーナリズム研究所
- ■イスラーム地域研究所

時限研究部門

学外の組織等から提供される研究資金を獲得した研究グループにより、現在2つの研究センターが設置されています。

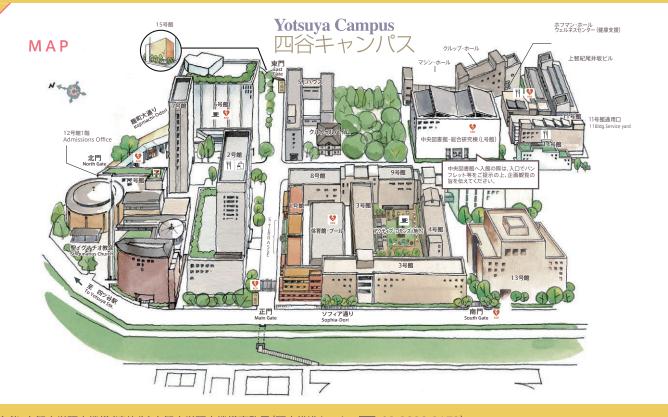
- ■水稀少社会研究センター
- ■先進機械・構造材料イノベーションセンター

2 つの附置研究機関、上智大学が設置する9つの附置研究機関があります。

- ■キリシタン文庫
- ■アジア人材養成研究センター
- ■グリーフケア研究所
- ■生命倫理研究所
- ■モニュメンタ・ニポニカ

研究機構とは別の研究機関として、上智大学の設置母体である学校法人上智学院が設置する

- ■半導体研究所
- ■国際関係研究所
- ■国際協力人材育成センター
- ■多文化共生社会研究所
- ■人間の安全保障研究所
- ■アイランド・サステナビリティ研究所



●主催:上智大学研究機構〔連絡先〕上智大学研究機構事務局(研究推進センター 111 03-3238-3173)

Sophia Open Research Weeks https://www.sophia.ac.jp/jpn/research/sorw/ E-mail sorw-co@sophia.ac.jp